

# 話題 いろいろ



11/16

## 想いを込めて発表しました

第32回目となる標茶町「少年の主張」大会がコンベンションホールういずで開かれました。出場した全小中学校の代表17人は自分の将来の夢や生活で気付いた課題などを堂々と発表しました。なお、中学生の部で最優秀賞を得た諏訪穂乃花さんは平成26年度釧路総合振興局地区大会の本町代表となります。結果は次のとおりです。

■小学生の部／最優秀賞…澁谷太一君（中御卒別小6年）、優秀賞…金子玲良さん（塘路小6年）、森田実里さん（磯分内小6年）

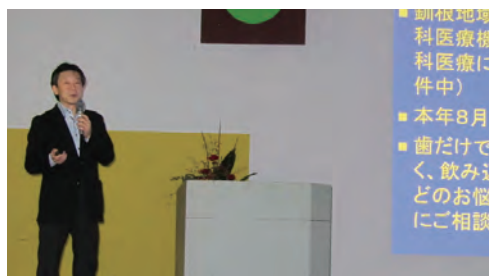
■中学校の部／最優秀賞…諏訪穂乃花さん（塘路中2年）、優秀賞…庄野朱音さん（中茶安別中1年）、島貫紗英さん（標茶中2年）



11/24

## 標茶ゆかりの人たちが交流を深めました

東京・標茶ふるさと会総会（伊藤博行会長）が東京都内で開催され、首都圏在住の町出身者ら62名の方が参加しました。会場内では、標茶町物産展も行われ、町内の特産品が販売されたほか、行者にんにく焼酎やしべちゃ牛乳などの本町の味覚が振る舞われました。また、懇親会では特産品詰め合わせなどが当たる抽選会も行われ、最後には「大標茶行進曲」を全員で合唱しました。



12/7

## 歯周病予防には正しい口腔ケアが大切

第45回標茶町社会福祉研究大会が、コンベンションホールういずで開催され、釧路歯科医師会専務理事の岡田実継氏が「在宅高齢者歯科医療と地域の関わり～口から食べる楽しみをいつまでも～」と題し講演を行いました。



11/16・17

## 中虹別「月の森 冬支度」

旧中虹別小学校で手作りの雑貨・クレヨン・写真・家具・絵本などの創作を手がける道東の工房などが集まり、冬の暮らしの楽しみを提案するイベントが開催されました。会場では弟子屈町川湯のカフェレストランも出店し、軽食が提供されるなど、大勢の人で賑わっていました。

【写真記事投稿 大浦忠雄さん（虹別）】



11/23

## 小中学生が白熱したゲームを展開

第4回ジュニア防犯王争奪選手権が農業者トレーニングセンターで開催されました。この大会は「健全な精神で、健全な行いができる。自分の身は自分で守れるいい子をめざして」をスローガンに、軽スポーツや防犯に関する種目を通じて、交流と防犯意識の構築と青少年の育成を図る目的で行われました。当日は本町と弟子屈町の児童ら170人が参加し、白熱したゲームを繰り広げていました。



12/6

## クリスマスイルミネーション点灯式

雪印メグミルク磯分内工場でイルミネーション点灯式が行われました。イルミネーションの点灯と同時に花火が打ち上げられ、「クリスマスまで、ひとときでも心んでもらえたらうれしい」と工場長が話されました。来場者にはプレゼントが手渡され、豚汁や肉まんなどが無料で振る舞われました。

## ありがとうございます

12/4



標茶消防署において消防団120年記念切手の贈呈式が行われ、標茶郵便局大友慎介局長から田中純一団長へ記念切手が手渡されました。切手を受け取った田中団長は「これからも消防団活動を通じて町民の皆さんに安心を与えていきたい」と話されました。

12/6



北海道開発局弟子屈道路事務所は、町教育委員会に昆虫標本を寄贈してくださいました。この標本は、五十石橋架け替えに伴う環境保全、動植物の生存調査時に捕獲した昆虫類30種38個体を標本箱に整理したものです。寄贈にあたり弟子屈道路事務所の諏訪所長は「今年の6月から9月にかけて採取した昆虫類を標本にしたので小学生の学習に役立てて頂きたい」と話されました。

## おめでとうございます

12/5



民生委員・児童委員への厚生労働大臣感謝状および北海道知事感謝状伝達式がコンベンションホールういすで開催され、森山副町長より賞状が手渡されました。本年度の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 厚生労働大臣感謝状および北海道知事感謝状／酒井ヒサ(旭)、蛭名アキ子(富士)、栗田ユリ(桜)、氏家幸子(麻生)、矢代得三郎(麻生)、谷口常子(塘路)、小林一彦(磯分内)、舘トシ子(虹別)、高橋幸雄(虹別)、手塚義明(虹別)、松尾いさ子(阿歴内)、長尾明朗(阿歴内)
- 北海道知事感謝状／佐藤洋一(磯分内)



12/8

いつやるか？今でしょ！

標茶町文化講演会が、コンベンションホールういすで、予備校講師の林修さんが今年の流行語大賞に選ばれた「いつやるか？今でしょ！」をテーマに開催されました。本講演会では過去最高の850人が町内外から来場し、開発センター大ホールでもスクリーンでライブ中継が行われました。講演では「失敗ではない低い目標を持つことが罪」「何ごとともやるならトップを目指して欲しい」と強調しました。



12/12

中国黒龍江省との交流を深めました

本町と中国黒龍江省孟家崗鎮は旧満州の開拓を縁として1993年より訪問交流などを行ってきました。この度、北海道国際交流員で同省出身の李貴鑫さんモンジャカンテンが来町し、標茶小学校での訪問交流と町民交流料理講習会が行われました。標茶小学校では、李さんが中国についてや、同省ハルビンの雪まつりなどを5年生60人に紹介し、児童からは日本の遊びが紹介され、中国の食文化を紹介するための料理講習会が行われました。その後、町民向けの中国家庭料理講習会が開発センターで開催され、ハルビンの家庭料理やギョーザなど4品が作られました。



12/12

町内初の太陽光発電所稼働開始

町内の建設業サトケンの子会社サトケンエナジー(佐藤紀寿代表取締役)が町内で初となる太陽光発電所の竣工式を行い、本格稼働を開始しました。同発電所は1.3ヘクタールの町有地を借り受け、太陽光パネル2,196枚を設置しました。出力は549キロワットと一般家庭180戸分の発電量が見込まれ、全量を北海道電力に売電します。